

# オフィスノイマトミライシル

2026年開始予定

経産省の

## サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度 に向けて、今準備できること

2026年度から本格運用が予定されている「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」は、企業間取引におけるサイバーセキュリティ対策の標準化と可視化を目的とした新制度です。特に中小企業にとっては、ため、早期の準備が求められています。  
★3,4を目指すにあたっての土台作りとして ★2つ星の取り組み実施を推奨しております。

SECURITY ACTION  
★★二つ星宣言  
支援サービス

キヤノンマーケティングジャパンのセキュリティ専任のノウハウをもとに宣言の進め方と診断と結果のご報告をいたします。

- ・二つ星宣言に必要な実施内容を手順等も踏まえご説明します。
- ・自社診断の25項目のヒアリングを実施します。より正確な分析のご支援をします。
- ・ご報告会にて、診断結果から具体的な対策案をご案内します。

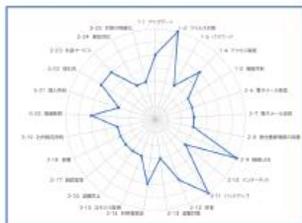
内容

期待効果

セキュリティポリシーの作り方が理解でき、ポリシー作成により、社内の意識向上につながります。

- ・今後の投資計画の優先順位の検討に活用できます。

### 診断結果について



合計点 28 / 100

機器/システムによる優先対策事項		
対策項目	コメント	対策ポイント
1-10	外部からのサイバー攻撃、内部からの情報漏えいに対し、対策を実施していない情報です。ITMやFW等を導入することを検討ください。	-
1-1, 1-3, 1-4, 2-13, 2-14	PCや事務用サーバーの感染/被害に実施していない脆弱性/パッチ更新です。データの復旧方法の取組みや日録管理を行うことを検討ください。	-
機器/システムにおける改善/見直し事項		
対策項目	コメント	対策ポイント
3-23	クラウドサービスも脆弱性に関する脆弱性/情報漏えい/バックアップ方法をご確認の上、ランサムウェア対策も可能なクラウドバックアップ/HDD等のバックアップの取組みが必須です。	-
2-11		-
組織による対策事項		
対策項目	コメント	対策ポイント
1-5, 2-6, 7, 8, 3-20	新種のウイルスや最新の情報も同様、対応できるように教育、訓練等が必要となります。	-
3-21, 3-24, 3-25	社内ポリシーや規定を整備して社内周知する必要があります。その一環としてセキュリティ教育を通して意識付けをお願いします。	-

1 パソコンやスマホなど情報機器の OS やソフトウェアは常に最新の状態にしていますか？

A. クラウドOSやアプリケーションのアップデート情報を一元管理する仕組みが必要です

#### 【IPA提示対策例】

OSやソフトウェアは常に最新の状態にする

- Windows Update、(WindowsOSの場合)、ソフトウェアアップデート(macOSの場合)などベンダの提供するサービスを実行する。
- Adobe Reader、ブラウザなど利用中のソフトウェアを最新版にする。
- テレワークで利用する(パソコン等の)ソフトウェアやルーター等のファームウェアを最新版にする。
- 利用中のソフトウェアに脆弱性が存在しないか、MyJVNI(バージョンチェック)で確認する。

※ <https://jvndb.jvn.jp/apis/myjvn/>

#### 【CMJ オススメ実施方法】

資産管理ソフトの導入



OSやソフトウェア等のバージョンを個々に管理せず、資産管理ソフトにて一元管理することが可能です。

バージョンが古いもの、設定したルール外の機器、ソフトウェアを管理者にわかりやすく可視化、通知できます。

**Point 1** セキュリティポリシーの作成手順もご説明。IPAより提供されているツールの使い方もご説明します

**Point 2** 25項目の自社診断をご支援。補足が必要な設問もセキュリティ専任がフォローいたします

**Point 3** ご報告書にて優先順位が高い課題とIT投資についてご案内いたします

セキュリティ対策評価制度が始まる前にSECURITY ACTIONで備えましょう！

# 2026年義務化予定 ストレスチェック対策 と カスハラ対策



2015年12月に施行された「労働安全衛生法」により、従業員数50人以上の事業場に義務付けられていたものが、2025年3月14日、実施義務対象を従業員50人未満の事業場にまで拡大する労働安全衛生法の改正案が政府にて閣議決定されました。具体的なスケジュールは未定です。



## ストレスチェック

### やることリスト

- ① 実施体制の構築
- ② ストレスチェックの項目をカスタマイズ
- ③ ストレスチェックの実施

- ④ 結果の評価と従業員への通知
- ⑤ 高ストレス者への面接指導
- ⑥ 集団分析と職場環境の改善
- ⑦ 労働基準監督署への報告

### 決めなければいけない事

- ・実施者、実施事務従事者
- ・ストレスチェック実施時期とその手法
- ・高ストレス者の判定基準
- ・面接指導を実施いただく医師
- ・集団分析の実施方法
- ・結果の保管方法

2025年6月4日に、カスハラ対策を雇用主に義務付ける法律が国会にて可決・成立しました。カスハラ対策を事業主の「雇用管理上の措置義務」とすることを主な内容とするものです。労働者が1人でもいれば、事業主に該当すると考えられます。事業主は、施行日(現在の案では2026年10月1日)までに対応必須といえます。

## STOP カスハラ



### やることリスト

- ① 経営トップによる社内外への宣言
- ② 社内規程・マニュアルの整備
- ③ 相談窓口の設置と周知徹底

- ④ 証拠を残すツールの導入
- ⑤ 外部専門機関との連携体制構築  
相談窓口の設置

### 補助金活用

京都市の「中小企業ひと・しごと環境魅力向上支援事業補助金」は、カスタマーハラスメント(カスハラ)対策を含む従業員の福利厚生や安全衛生の向上に資する事業を補助対象としています。補助率は対象経費の5分の4以内で、上限は60万円です。1月末で募集は終わっていますが、令和8年4月1日からも募集が始まる事が予想されています。



PCA Hub

# “手に届く価格”で“手がとどかなかった業務効率最適化”を

PCA Hubシリーズは、手軽に始められる業務デジタル化パッケージです。

煩雑な手続きや紙業務をクラウドで一元化。

人事・経理・書類管理など、分散しがちなバックオフィスを、  
連携性の高いサービスで効率的に支援します。



## 多様な働き方に応える企業向けクラウドストレージ



PCA Hub eDOCは、スマホやリモート環境からも利用できるクラウドストレージ。安心・安全なファイル共有とアクセス環境を提供し、電帳法に準拠した証憑管理をスムーズに実現します。PCAソフトとの連携やAI-OCR、多彩な機能と柔軟な拡張性で、企業の情報共有と業務効率化、さらには成長を力強く支援します。

## 会計システムと連携、カンタン・低コストではじめる



PCA Hub経費精算は、精算する人も、管理する人も、みんなが使いやすい。申請・承認もペーパーレスで、部門別予算チェックにも対応。会計システムとダイレクト連携で業務を効率化します。

## 人事・労務業務を統合管理できる連携型サービス



PCA Hub HR Suiteは、年末調整・労務管理・給与明細配信を統合したサービス。PCA 給与シリーズと連動し、業務の見える化とペーパーレス対応で人事・労務の業務の生産性を大きく向上させます。

## 給与明細のデジタル化で給与業務の負担軽減を実現



PCA Hub給与明細は印刷・封入・配布作業が一切不要。簡単な操作で給与明細のデジタル化を実現します。給与担当者の業務負担を減らし、人事・労務業務のデジタル化を強力にサポートします。

## 年末調整のWeb化で、75%以上の業務時間を削減



PCA Hub年末調整は、年末調整の全てをデジタル化します。社員はスマホで簡単入力、給与担当者は確認・集計・保管の手間が減り、年末調整の業務効率化を実現します。

## 労務手続きを効率化する身上申請電子化サービス



PCA Hub労務管理は、住所や扶養家族の変更、雇用契約などの手続きをPCやスマホで簡単に実現。人事・労務担当者の負担を減らしながら業務全体をデジタルで最適化します。

## 請求書・納品書をまとめて送信、業務とコストを削減



PCA Hub取引明細は、請求書や納品書をクラウドで配信・管理。郵送不要で作業時間を短縮し、件数が増えても料金が抑えられる設計で、無理なく使い続けられます。

面倒な作業とおさらば



【楽楽精算の特徴】

- ①領収書をスマホで撮影して申請(原本破棄可)→上長承認→経理→自動仕訳→会計ソフトとの連携で業務効率UP!
- ②ICカードの取込機能あり
- ③撮影した領収書は文字の読み起こし機能(AI)により入力作業の削減
- ④インボイス番号も自動で読取り、正誤判定
- ⑤現在お使いの精算書フォーマットは限りなく再現可能
- ⑥法人カードの利用履歴も連携可能
- ⑦社内規定に違反した申請はエラーを出して自動で差し戻し可能
- ⑧経費に関係のない稟議関係のワークフロー機能も有



平安キャンノ事務機はお客様のDX推進をサポートします  
まずはお気軽にご相談ください!



バックナンバーは弊社ホームページにて公開中

平安キャンノ事務機株式会社



※本誌の詳細情報は  
下記担当にお問合せ下さい

🏠 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町30番地

☎ 075-681-2591

✉ info@h-canon.co.jp

<http://h-canon.co.jp/>